

「2011 TSR シップ 鴨台ボランティアプロジェクト」参加学生レポート課題

I. テーマ設定の趣旨及び学習目標

- 今回の東北関東大震災は、東日本のみならず日本全国に深刻な被害、影響を及ぼしています。この震災は、生じた（生じつつある）被害の深刻さばかりでなく、私たちの生活、生き方そのものを問い直させる衝撃的力を持っているように思います。甚大な被害と失われたいのちへの悲しみが生み出される一方で、それらの苦痛、悲しみを少しでも和らげ、分かち合いたい、助けになりたいという人々の思いと活動の輪も広がりつつあります。本学は、こうした思いと活動の一端を担う決意を固め、「2011 TSR シップ 鴨台ボランティアプロジェクト」を立ち上げました。

皆さんは、このボランティアプロジェクトの趣旨に賛同し、参加することになりました。この体験を一時のエピソードで終わらせることなく、皆さんの今後の学生生活、ひいてはこの先の長い人生の糧とするために、今回のボランティア体験を振り返り、深く心に刻み、言葉にしておくことは大変有意義なことと考えています。

II. テーマの内容

- 「2011 TSR シップ 鴨台ボランティアプロジェクト」の体験を踏まえたレポートを下記の要領で作成してください。

III. テーマ学習の方法

- 「2011 TSR シップ 鴨台ボランティアプロジェクト」への参加を希望する学生は、必ず本学申し込み窓口で手続きをしてください（申し込み窓口はホームページで通知します）。
- 本テーマを選択する学生は、上記プロジェクトへの登録を済ませ、活動日程が決まったのち4月15日（金）までに、①学籍番号、②氏名、③緊急時の連絡先となる電話番号を、各学科、コースの担当者に連絡しておくこと。

IV. レポート課題 ※レポートは下の要領に従って作成してください。

- レポートに盛り込むべき項目
 - ①□ ボランティア参加の前に持っていたあなた自身の本震災への認識と「思い」、ボランティアに参加した動機を書いてください。（300字程度）
 - ②□ ボランティア活動の記録；活動の具体像がわかるように時間を追って、経過を記述する。かつその折々であなた自身が感じたこと、考えたことなどを整理して記述する。体験を真に自分のものとして未永く活かしていくためには、記録することがとても大切です。その際、事実と自分の感じたこと、考えたことをきちんと区別して書くことが大切です。
(この項は、字数は問わないが活動に応じた相当量を求める)
 - ③□ 活動をとおして学んだこと、自分の今後活かしていけると思うことを中心に、今回のボランティア活動全般をまとめてください。

(800字程度)